

CancerBoard Contents

Square

Issue October
vol.5 no.3 2019

[アートディレクション&タイトルロゴ]

白石良一

[デザイン]

丸山太央・今泉友里 (白石デザイン・オフィス)

[表紙・イラスト]

橋本 聡

Cancer Board Conference

胃がん・乳がんの既往歴があり、
肺がん・膀胱がんを合併し、治療選択に難渋した1例
(聖路加国際病院Oncology Grand Conference) 5(455)

特集

総合診療医×がん治療医でハイリスク症状を見抜く 帰してはいけない がん外来患者

Part1 がん治療医のための外来診療の型と考えかた

高い専門性に潜むがん診療の落とし穴、 公平 誠 32(482)
診断エラーから考える! がん患者外来診察の基本スタイル 伊藤亮治 34(484)

Part2 ケースで学ぶ! がん診療の診断エラー

しびれ
——抗がん剤の副作用を疑っていたら……? 公平 誠・伊藤亮治 40(490)
皮疹
——EGFR-TKIによる皮疹を疑っていたら……? 下井辰徳 46(496)
抗がん剤治療中の頭痛
——がん性髄膜炎を疑っていたら……? 金政佑典 54(504)
下肢浮腫、発赤
——蜂窩織炎を疑っていたら……? 小島勇貴 60(510)
免疫チェックポイント阻害薬投与中の発熱と酸素化低下
——薬剤性肺障害を疑っていたら……? 青山陽亮・尾崎由記範 64(514)
低Na血症
——SIADHを疑っていたら……? 矢崎 秀 70(520)
発熱・倦怠感
——腫瘍熱を疑っていたら……? 伊藤亮治 76(526)
術後の発熱
——インフルエンザを疑っていたら……? 奥屋俊宏 80(530)
急激な呼吸不全
——がんの悪化を疑っていたら……? 横山雄章 86(536)

Part3 外来がん診療で使えるスマホ・ベースドWEBツール

スマホ・ベースド・メディシンのすすめ 大場彬博 92(542)

特別企画

対話の時代の臨床倫理 ジレンマ・メソッド入門

臨床倫理とは誰にとっての問題か？ 対話の技法としてのジレンマ・メソッド 田代志門	98(548)
臨床倫理の世界的潮流とMCD ——ジレンマ・メソッドの位置付け 服部健司	102(552)
構造化された倫理カンファレンスを目指して ——ジレンマ・メソッドに学ぶ 田代志門	106(556)
ジレンマ・メソッドによる臨床倫理カンファレンス 予後が残り少ない時間のなか、家族との面会を拒否し続ける患者と 面会を希望する家族の希望にどう応えるか 事例提供:守田 亮 ファシリテーター:清水千佳子	121(571)

企画・執筆者紹介 178(628)

休刊のお知らせ 182(632)

Editorial 183(633)

特別記事

インフォームドコンセントはソムリエ方式で 佐藤恵子	136(586)
------------------------------------	----------

連載

國頭ゼミの課外授業 わたしたちは、こう考える [6・最終回] 言葉について考える 國頭英夫	146(596)
患者さんに「寄り添って」話を聴くってどういうこと? [5・最終回] がん患者のレジリエンス ——絶望のなかから生きる意味を見いだす力 清水 研・白波瀬丈一郎	154(604)
Medical Oncology 2.0 [8・最終回] バイアスの少ない合意形成が導く最適ながん診療の実践 公平 誠	160(610)
もうひとつのがん診療の世界 AYA・小児がんの「その後」を知る [後編] がん治療と性機能 長沖優子	168(618)
Dose intensityを維持する漢方スキル [3・最終回] 食欲不振 元雄良治	176(626)